1　カブトガニに関する事業

実　施　事　業	３０周年イベント事業（生涯学習課）
総　事　業　費	１，１７７，５１７ 円
ふるさと納税充当額	１，１６９，０００ 円

カブトガニ博物館は平成２年３月１６日に開館し，令和元年度は３０周年となりました。
３０周年を記念して数々のイベントを開催し，入館者増となりました。

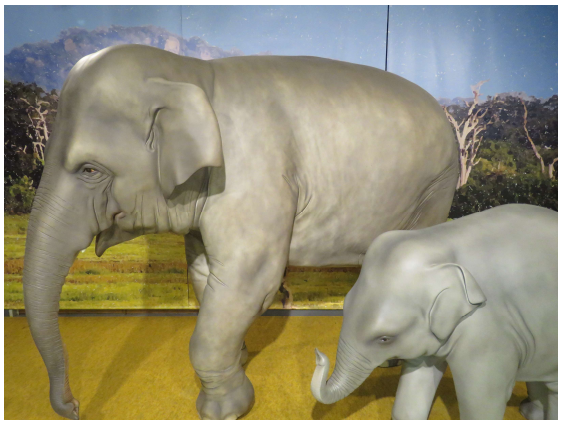
平成３０年度　４月～９月の入館者数　33,953 人
令和元年度　　４月～９月の入館者数　42,539 人

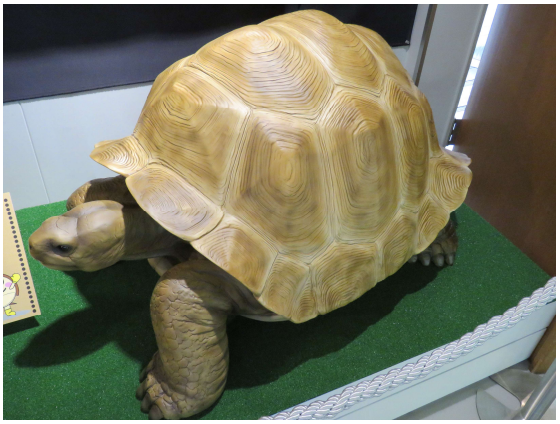
【主なイベント】
・来館者２００万人記念　（４月６日開催）
・スプリングコンサート　（４月１４日開催）
・カブトでマジック　　（８月１３日開催）
・天文台に行こう！　　（８月２０日開催）　岡山天文博物館協力
・ビカリア化石を掘ろう貝（１０月６日開催）　なぎビカリアミュージアム協力
・３０周年記念陳列展「造られたいきもの」展
・シアターコンサート（２月８日開催）　ふらここオーケストラによるコンサート
　その他，講師を招いて各種ワークショップを開催

来館者２００万人記念

ビカリア化石を掘ろう貝

スプリングコンサート





「造られたいきもの」展

実　施　事　業	タッチングプール事業（生涯学習課）
総　事　業　費	１，６２９，７２４ 円
ふるさと納税充当額	１，６２０，０００ 円

８月１日～９月２９日にタッチングプールを行いました。
生きている生物に直接触れる経験を入館者に体験していただき，海洋生物に，より一層の関心を持っていただきました。
子ども達に大変人気で楽しく学んでいる様子を見ることができました。

実　施　事　業	カブトガニ保護活動事業（生涯学習課）
総　事　業　費	１，０９１，８６７ 円
ふるさと納税充当額	８８８，０００ 円

カブトガニ博物館では，カブトガニの保護のため，市民とともに，保護啓発運動等を行い，広く周知を行うとともに，保護監視員を任命し，定期的に海岸のパトロールを実施し，繁殖地内に入浜している方に，保護の大切さを伝え，浜から退去していただいています。

また，漁業協同組合の協力を得て，漁師の網にかかったカブトガニを保護し，一定期間観察をおこなった後，海に放流しています。そして，一般公募をして，人工飼育したカブトガニの幼生を海に放流しております。

平成３１年度は２６８匹のカブトガニが野外調査で確認できています。

成体放流（2019 年 6 月 12 日実施）

幼生放流（2019 年 7 月 14 日実施）

保護啓発運動（2019 年 5 月 18 日実施）

実　施　事　業	保護活動ＤＶＤ作成事業（生涯学習課）
総　事　業　費	５８８，５００ 円
ふるさと納税充当額	５８８，０００ 円

笠岡市内及び近隣市町の子供たちに地域学や環境学習の教材として DVD”守ろう！生きている化石「カブトガニ」”を作成するために，ガバメントクラウドファンディングを実施しました。天然記念物「カブトガニ繁殖地」を周知するとともに，環境保護について考えていただく内容となっています。

学校の総合学習などに活用していただく予定となっており，笠岡市内の学校には配布済みです。今後希望される近隣市町の学校へ順次お渡しすることとなっています。

実　施　事　業	博物館修繕事業（生涯学習課）
総　事　業　費	５，８００，２３８ 円
ふるさと納税充当額	５，７８４，０００ 円

１．博物館のマスコットキャラクターである，カブニくんカブ海ちゃんの着ぐるみが，経年劣化のため破損や汚れが目立っておりましたので修繕しました。市内の各種行事の時，博物館の PR に活用するとともに，ホール入口でお客様を迎えしています。

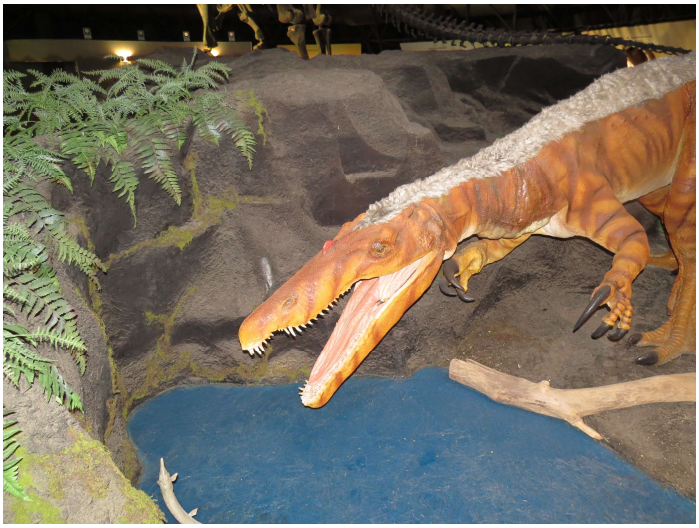
２．恐竜公園の恐竜模型（アパトザウルス）は人気のある恐竜ですが，屋外に展示されているため，長年風雨にさらされ，汚れが激しくなっていました。塗装等をやり直し，来園者に大変喜ばれています。

３．博物館の中に展示されている動く恐竜模型バリオニクスは，入館者を感知すると吼える仕組みになっておりますが，機械の不具合により動きが悪くなっていました。その為，機械の修繕を行い，以前の動きを取り戻しました。

４．博物館内の各施設を修繕（雨漏り，水漏れ，機器の不具合等）し，入館者に多いに喜んでいただいています。

1.着ぐるみ修繕

2. アパトサウルス修繕



3.バリオニクス修繕

実　施　事　業	博物館運営事業（生涯学習課）
総　事　業　費	９３，４４９，５４５ 円
ふるさと納税充当額	１７，２１１，０００ 円

博物館の適切かつ効率的な管理運営のため，特別展等ではその魅力をやさしく解説する工夫と手法を実践しました。また，来館者からの意見やアンケート結果をなるべく反映する事により館の運営の改善を行い，一層のイメージアップにつなげました。